

《報告》熱戦 ドッチビー大会を開催

8月30日（土） 小学生12名が参加してドッチビー大会を開催しました。
二組（A vs B）に分かれた若き選手たちが、仲間と協力しながら円盤を投げ、
熱い攻防戦を繰り広げました。保護者からの熱心な声援で会場は一体となりました。
その後も楽しいゲームに興じ、最後はみんなで美味しくソーメンを
いただきました。夏休みが終わり、少し寂しい気持ちもあった中、最高の
思い出を作る一日となりました。
参加してくれた若き修多羅地区ジュニア等のみなさん本当にお疲れ様でした。



《報告》そうさんキッズ

9月18日（木）の「そうさんキッズ」は、あいにくの雨で参加者が少なかったものの、子育てサポーターと職員も一緒に、「ぶどうアート」を作りました。
お子様がくしゃくしゃに丸めた紙に、ママが仕上げの飾り付けを施して完成！
親子で協力して素敵な作品ができました。完成した個性豊かな「ぶどうアート」
は、11月11日からの文化祭で展示されます。ぜひ見に来てくださいね。



《報告》若松消防署見学

9月20日（土）、若松消防署に子ども9名（保護者8名）が見学に行きました。
消防士さんから丁寧な説明を受け、普段は見ることのできない訓練施設や仮眠室
厨房など署の内部を見学しました。今回は特別に、はしご車や救急車も見学させ
てもらいみんな大喜び！
消防士さんの仕事や役割を身近に感じる事ができたようです。
若松消防署の皆さま、ありがとうございました。



まもなく終了 「みんなの自慢作」

今年6月から始まった“アイアンフェンスアート”に多くの作品が集まりました。
出展頂いたみなさん、ありがとうございます。
センターを利用する人や地域の方から、「いつもみてるよ」、「よく書けてるね」
「楽しく眺めながら坂を登れて、筋肉がついてうれしい」など、温かいことばを
いただきます。展示作品第一号は、“パンダ”を描いてくれた8歳の女の子。
「館長、これ貼って」と来館した顔は、今でも忘れません。
「みんなの自慢作」も外壁工事の完了に伴い、10月末に展示が終了いたします。
まだ、子どもたちや地域の方の作品をご覧のない方は是非、センターに
お越しください。



今月のおすすめ文庫 「まほろ駅前多用便利軒」 著：三浦しをん

東京のはずれにある架空の町「まほろ市」で便利屋を営む“多田啓介”
のもとに、高校の同級生の“行点春彦”が転がり込んできます。
ペットの世話から子どもの塾の送迎まで、一見ありふれた依頼をこなす
事で、二人はさまざまな人々と出会い、それぞれの抱える事情や過去と
向き合います。どこか寂しげでそれでも温かさを感じる二人のやりとりと
少しずつ深まる絆の在り方が、現在の希薄した心に温もりを感じます。
秋の夜長にじっくりと楽しんでいただきたい一冊です。

